事業所名　こどもたちの窓Solana(ソラナ:ひだまり)

支援プログラム

作成日　2026 年　11 月　10 日

法人（事業所）理念	1．個人の尊厳を尊重される権利 職員は利用者一人ひとりの人権を尊重し、常に対等な立場で誠実に対応します。 2．個別ケアを受ける権利 職員は利用者の個別のニーズや希望の把握に努め、それに応じたサービス提供します。 3．質の高い安心できるサービスを受ける権利 職員は利用者の心の安定、残存能力・滞在能力の維持・開発に向けたサービスを提供します。 4．自己決定・自己選択する権利 職員は利用者個々の自己決定、自己選択する意思を最大限尊重します。 5．わかりやすい情報を受ける権利 職員は利用者が必要とする情報を、利用者がわかるような言葉や表現で伝えるよう最大限の努力をします。 6．質問・意見・苦情を表明する権利 職員は利用者からの質問、意見、苦情に対しては真摯に傾聴し、具体的に解決、改善を図っていきます。 7．プライバシーの保護に関する権利 職員は利用者の生活におけるプライバシーを守ります。また個人情報は守秘義務と情報の管理を徹底します。 8．地域社会で生活する権利 職員は利用者と地域社会とのつながりを維持し、社会資源についての情報を提供します。 9．響き合いながら仕事を全うする精神、『響働』を大切にします。 私たちは、多くの支えの中で育てられ、いまここにいます。その絆の中で、時代の中で、誰もが、その人にしか担うことのできない仕事を持っています。 1人ひとり同じ目標に向かって協力し、響き合いながら仕事を全うする精神、『響働』を理念と致します。	
支援方針	・安心・安全の支援 ・子どもの自立、表現力の向上 ・子どもの心を育む ・しつけやルールを吸収する力の充実 ・障がい者雇用	
営業時間	10 時　0 分から　19 時　0 分まで	送迎実施の有無　あり

		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	利用者様の健康チェック(検温・視診)、身だしなみ、歯磨き、生活リズムの確立に向けた支援をしています。 事業所では微酸性次亜塩素酸水生成装置「エルビーノ」で手を洗い、感染症対策に努め、有害物質や細菌の除去を行うため、建物には「光触媒」を取り入れ、高性能空気清浄機「エアドッグ」を設置し、常に清潔な環境を保っています。
	運動・感覚	粘土やブロック、音楽などを通して、“触覚・視覚・聴覚”を刺激し、運動・感覚の発達を目指し、体力づくりのため戸外での活動を積極的に取り入れています。 また、良い姿勢の改善、集中力の向上を目的として、「ヨガ遊び」や「野球教室」、「サッカー遊び」も導入しています。
	認知・行動	絵カードを用いて、一日のスケジュール作成し認知、行動を支援します。個別ロッカーを設置することによって自分の持ち物の整理整頓を心掛けます。 また、数字やパズルを活用し、記憶力の向上にも努めています。「プログラミング教室」では自分で考え、解決方法を見つけ出す力を育成します。 防災時、災害グッズがすぐに取れるよう設置しており、避難訓練を通して聞く、考える、安全に行動する力を身に付けます。
	言語 コミュニケーション	お友達との対話や遊びを通して感情表現や意思疎通を育み、主体性や感謝の気持ち、挨拶を大切にしています。 また、「英語遊び」を通してコミュニケーションの楽しさを知り、「習字教室」では級の取得を目指すことができ、礼儀作法も身に付きます。
	人間関係 社会性	年間行事やイベントに特化し、様々な体験や経験を重ね、利用者様の自立へのスキルを育みます。社会のルールを理解し、協調性や共感力も育みます。

家族支援	子育ての悩みなどに対する相談や家庭内での養育などについて情報共有を図りながら、お子様の育ちを支える力をつけられるように支援します。 また、保護者の方の時間を保障するために、ケアを一時的に代行する支援も行っています。	移行支援	同年代の児童との仲間づくり、学校等との連携による就学・進学時における支援の連続性の確保、小学校等への移行に向けた取り組み、相談援助や保育所等への助言・援助、日常生活を送るための取り組みなどを行っています。
地域支援・地域連携	地域の災害訓練やイベントに参加し、地域との交流を大切にしています。地域の子どもに関わる機関や事業所とも連携しています。	職員の質の向上	感染症対策や虐待防止研修、救命救急講習など様々な研修を実施し、質の向上を図っています。
主な行事等	親子参加型イベント(例)潮干狩り、親子フェスティバル、作品展、性教育など イベント(例)ラフティング、プール、スイカ割り、ハーベストの丘、関西サイクルスポーツセンター、ハロウィンパーティー、クリスマス会など 避難訓練、内部・外部研修		